

# 日本航空宇宙学会関西支部 ライト祭 2024のお知らせ

1903年12月17日のライトフライヤー号によるライト兄弟の初飛行を記念して、航空宇宙をテーマに恒例の「ライト祭」を下記の要領で開催いたします。本年は対面およびオンラインのハイブリッドで開催します。ライト祭への参加には、事前登録が必要です。詳細は関西支部ホームページをご確認ください。高校生、大学生、高専生といった若い世代や一般の方の聴講を歓迎いたします。

主催：日本航空宇宙学会 関西支部  
後援：朝日新聞社

日時：2024年12月21日（土）  
14時00分～17時00分

会場：大阪公立大学文化交流センター（梅田サテライト）およびオンライン(Teams)  
大阪市北区梅田1-2-2-600大阪駅前第2ビル6階 (TEL:06-6344-5425)



参加費：無料

定員（現地）：120名

定員を超えた場合は、オンライン視聴をご利用ください。

参加登録：

参加ご希望の方は日本航空宇宙学会関西支部ホームページより参加登録ください。オンライン視聴URLは参加登録者に後日連絡します。

<http://branch.jsass.or.jp/kansai/>

スケジュール：

14:00～14:30 機器・パネル展示  
14:30～15:00 研究・活動紹介  
15:00～16:00 特別講演1  
16:00～17:00 特別講演2

## 特別講演1：

世界最小・最軽量の月面探査ロボット SORA-Q の挑戦  
同志社大学 生命医科学部 教授 渡辺公貴 氏

SORA-Qは、日本の宇宙航空研究開発機構（JAXA）、株式会社タカトミー、ソニーグループ株式会社、同志社大学が共同で開発した変形型月面ロボットで、2024年1月20日に月着陸機SLIMに搭載され、月面に放出されました。このミッションで、SORA-QはSLIMとその周辺の撮影に成功し、日本初の月面探査ロボットとなりました。世界初の完全自律ロボットによる月面探査を行いました。さらに、SORA-Qは世界最小・最軽量の月面探査ロボットとなりました。

## 特別講演2：

航空機の脱炭素化に向けた水素航空機向けコア技術開発  
川崎重工業(株)航空宇宙システムカンパニー  
水素航空機コア技術研究プロジェクト総括部  
筈 雅英 氏

近年、民間航空分野においてもCO2排出量の削減に向けた動きが活発化しており、航空機のCO2削減を実現するための有力な方法として燃料としての水素利用が検討されている。本講演では水素航空機を実現するためのコア技術として開発を進めている水素燃焼器、液化水素タンク、水素供給系、機体構想などの開発状況について報告する。

問合せ先：

川崎重工業(株)航空宇宙システムカンパニー  
航空エンジンディビジョン

日本航空宇宙学会関西支部 2024 年度事務局

E-mail: [jsass\\_kansai2024@global.kawasaki.com](mailto:jsass_kansai2024@global.kawasaki.com)